稲敷市

ボランティア通信

つながる手と手

第69号

令和７年６月発行

能登半島慰問に行ってきました！

KT：能登半島の皆さんと

目 次

表紙　移能登半島慰問に行ってきました！

P２　ボランティア連絡協議会　総会開催
防犯についての学習会　シルバーリハビリ体操指導士会
ふれあい電話でおしゃべりしませんか？

P３　オレンジカフェで楽しくフレイル予防
大盛況！　KT 主催第２回歌声喫茶
福祉センターの各室利用について

P４　KT（君と共に）が能登に行ってきました！
講演会のお知らせ

発行　社会福祉法人　稲敷市社会福祉協議会　　稲敷市ボランティアセンター
〒 300-0504　茨城県稲敷市江戸崎甲 1992 番地
☎029−892−5711　　FAX029-892-5922

この広報誌は、みなさまから寄せられた、共同募金を活用しボランティア活動を広めるために発行しています。

ボランティア連絡協議会　総会開催

5月23日、市役所の会議室にてボランティア連絡協議会の総会が開催されました。各団体の代表者74名が出席し、令和6年度の事業、決算、役員の一部交代の報告と、令和7年度の事業計画、予算が承認されました。

現在、ボランティア連絡協議会には67団体、個人ボランティア1名が加入しています。ボランティアの活動は高齢者･障害者支援、更生支援、こども食堂などの子育て支援、草刈り・花壇整備などの地域美化、地域交流サロンなど多岐にわたります。

会員の中には複数の団体に所属している方も多く、イベントでも複数の団体や個人が協力し合うなどの繋がりもあり、情報交換も行われているようです。

今年度も講演会や移動研修を計画していますので、皆さんのご参加をお待ちしています。

防犯についての学習会　シルバーリハビリ体操指導士会

シルバーリハビリ体操指導士会は福祉センターや公民館、地区集会所で介護予防体操の指導をしたり、老人クラブのスポーツ大会にも協力するなど地域福祉に大きく貢献している団体です。

5月15日、市役所の会議室にて定期総会が開催され、約60名の会員が出席しました。

総会の後は学習会として、稲敷警察署の署員による防犯対策についての講話を聴きました。詐欺を始めとする様々な犯罪や事件、事故などについて盛りだくさんの内容をユーモアたっぷりにお話ししていただき、参加者は楽しく防犯について学ぶことができたようです。「今日聞いたことを留意して、犯罪の被害を防いで安全に暮していきたいと思います」との声が聞かれました。

ふれあい電話でおしゃべりしませんか？

ふれあい電話とは、65歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に“電話”での訪問を行い「孤独感の解消」や「安否確認」を目的とした福祉サービスです。

このサービスは申請いただいた利用者さんに、協力ボランティアさんが月2回程度電話訪問をします。日常生活の出来事など、いろいろなお話しをすることができます。

ひとり暮らしで、誰かと気楽な会話をしたいと思う方、利用してみませんか？

お問合せ　稲敷市ボランティアセンター　☎029-892-5711

オレンジカフェで楽しくフレイル予防

いなしきオレンジカフェは認知症の正しい予防知識やフレイル予防法を学んだり、自由に語り合える場所で、市内 4 地区で随時開催されています。

5月 14 日は江戸崎笑遊館にて**NPO 法人認知症介護の会うさぎ**の主催でカフェが開催されました。今回の参加者は 11 名、いつも楽しみに集まる常連さんたちです。もちろん初めての方も大歓迎です。

前半はうさぎのメンバー 2 名と**※オレンジパートナー**の 3 名が、介護予防体操や名言の唱和、早口ことばなどを参加者と一緒に行いました。お茶とお菓子で休憩した後は、江戸崎ちんどん倶楽部の方が演奏するサックスやハーモニカに合わせて、昭和歌謡を合唱しました。主催者によると、皆さんは歌うことが大好きなので、時間が許す限り歌の時間をとっているそうです。頭と体を動かし、笑顔で歌ったりおしゃべりすることが、皆さんの元気の源になっているようです。

※オレンジパートナー･･･認知症サポーター養成講座や介護ヘルパー養成研修を受講後、認知症サポーターステップアップ講座を受講した方が登録でき、オレンジカフェなどでボランティア活動しています。

大盛況！　KT 主催第 2 回歌声喫茶♪

4 月 15 日の午後 1：30 ～ 3 ：30、稲敷市江戸崎福祉センター集会室にて、ＫＴ主催第 2 回歌声喫茶が開かれました。市内中から 62 名の方が集まりました。

昔懐かしいフォークソングや演歌・歌謡曲約 30 曲を、いなしき軽音楽愛好会の生演奏をバックに熱唱し、あっという間に時間が過ぎました。途中ご当地クイズで盛り上がったり、休憩時間には「福祉車両乗車体験」「補聴器の聞こえ相談」があったりと盛りだくさんのプログラムで、会場一杯に笑い声と歌声が響き渡っていました。

プログラムの最後には「上を向いて歩こう」を手拍子に合わせて大合唱。「楽しかったわ」とニコニコしながら、皆様会場を後にされました。10 月には第 3 回目を開催する予定です。（代表　伊藤さん）

福祉センターの各室利用について

稲敷市ボランティアセンターにはボランティア室、研修室、集会室があり、各団体の研修、打ち合わせなどに使用できます。予約制となっており、使用の際は事前に社会福祉協議会に申し込んでください。

また、ボランティア室にはパソコン、コピー機もありますので、ボランティア活動に関する資料の印刷（無料）などにご利用ください。

KT（君と共に）が能登に行ってきました！

４月４日～６日の３日間、被災地支援のボランティア団体の支援をいただき、KT の活動の一環として代表２名が能登半島の被災地で歌声喫茶を開催してきました。

つい最近まで避難所だったため、支援物資の段ボールが積まれている集会所や仮設住宅のある地域に、新しく建てられた集会所等３カ所で地域の方達と一緒に、楽しい一時を過ごすことができました。

「仮設住宅では大きな声を出せないから久しぶりに大声で歌えました」「歌っていると、地震の辛さを忘れることができました」等、笑顔で歌ってくださった方の、生のお声を聞くことができました。少しでも前を向いて行こう！という被災地の方の気持ちが伝わって来ました。２時間のプログラムの中に、御当地クイズも取り入れて、茨城県のことも知ってもらうことができました。

倒壊した家屋がまだそのままになっていたり、駐車場が使えない建物があったりと復興の道のりは半ばなので、これからも少しずつでもできることをお手伝いしたいと思っています。

「また是非来て下さい！」の声に送られて能登半島の地を後にしました。　（代表　伊藤さん）

※ KT の伊藤さんご夫婦は、演奏機材を自家用車に積み込んで車中泊しながら能登半島入りし、七尾市の集会場２か所と金沢市の公民館を慰問しました。

講演会のお知らせ

９月 12 日（金）、江戸崎中央公民館にて稲敷市ボランティア連絡協議会主催の講演会が開催されます。

講師はつくばみらい市光雲寺住職、茨城県社協・防災活動アドバイザーの米澤智秀氏。

災害のプロとして全国の被災地に赴いて復興支援を行っており、現場でのリアルなエピソードは説得力があり、慈悲深い人柄と語り口に引き付けられ感銘を受けます。

昨今関心が高まっている一般的な防災対策の話はもとより、災害ボランティア、災害ボランティアセンターとは何か、住民はどのようにかかわり、住民にできることは何かなど、通常とは違った角度からのお話を聞く貴重な機会となることでしょう。

また、講話の前にボランティア団体紅太鼓の演奏発表もあります。

一般の方も予約なしで参加できます。多くの方の参加をお待ちしています。